

サマーサイエンスキャンプ 2012

「地域に適した小麦の開発技術を学び、作物の機能性を調べてみよう」

(実施機関：農研機構東北農業研究センター)

1. プログラム概要

(1) DNAマーカーによる小麦選抜

作物の育種理論、小麦の育種技術を学び、DNAマーカーを使った選抜技術について小麦を使って実習します。

(2) 超強力、菓子用、もち性小麦など、いろいろな小麦の品質を調べてみよう

東北農研が開発したいろいろな種類の小麦品種について、分析機器を用いて小麦粉の品質を分析し、また、パンやケーキを実際に作ってみて、小麦粉のでんぷんやグルテン蛋白の働きについて学び、品質のよい品種を育成する技術を体験します。

(3) 農産物や食品の機能性成分とその分析技術

農産物や食品に含まれる機能性成分と体内での働きについて学び、更に機能性成分である植物色素の分析に用いる分析機器の操作、分析材料の調製などを体験します。

(4) 農産物の機能性成分を分析してみよう

有色米の色素など機能性成分について、実験室の分析機器を用いて成分分析を行い、結果のまとめ方を実習します。

2. スケジュール

1日目 8月1日 (水)

12:30~13:00 集合受付

13:00~13:30 開講式／オリエンテーション

13:30~14:30 試験ほ場、研究成果展示室の見学

14:30~17:30 DNAマーカーによる小麦選抜 (講義、実習)

17:30~19:00 講師等との交流会

2日目 8月2日 (木)

9:00~15:00 超強力、菓子用、もち性小麦など、いろいろな小麦の品質を調べてみよう (講義、実習)

(12:00~13:00 昼食)

15:00~17:30 農産物や食品の機能性成分とその分析技術 (講義、実習)

3日目 8月3日 (金)

9:00~12:00 農産物の機能性成分を分析してみよう (講義、実習)

(12:00~13:00 昼食)

13:00~14:00 キャンプのまとめ

14:00~14:30 閉講式